

e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2016

十勝の秋の始まり

十勝は長雨や台風の影響で産業が大ダメージを受けました。特に主産業の農作物が、天候不順で生育が悪い上に、収穫前の農作物が風水害でたたかれて半減しています。冷害には強い根物のジャガイモやタマネギでさえ流通アクセツが壊れて輸送できません。今回の台風では、十勝から出る道路や線路が全てアウトになり、今までにない最悪の事態が生じました。狩勝、日勝、三国、天馬、道東道、根室本線全てが不通になり、正に陸の孤島になったのです。災害の少ない危機感のない十勝人には初めて出会う衝撃的な事件でした。

あの雄大に流れる十勝川が、幅数百mある河川敷を満々と波立って土砂が流れる姿を見ました。大橋に心配して見に来た市民が驚きの声を上げていました。後しばらくあの勢いでドシャ降りが続いたら決壊の危険がありました。4時半の早朝から、市の広報車が退避勧告を流し巡回していたのが理解できました。

夏のなかった十勝の空にも秋の雲が流れてきています。朝がめっきり寒くなり、温度がひと桁の日があります。

日中でも10℃少し超すぐらいで、ついにストーブに火を入れます。コオロギの鳴き声と真っ赤に染まったナナカマドの空を見て、ふと十勝の夏はどこに消えたのでしょうかと今年の夏の思い出は消えていました。



活動のお知らせ

- 10月 4日(火) 10:00~帯広畜産大学講堂 主催:デンマーク大使館 デンマークに学ぶ雇用型酪農経営への転換と教育支援
10月31日(月) 新ひだか町コミュニティセンター 第21回北海道肉牛研究会大会
11月 5日(土) 京都大学農学部 畜産システム研究会第30回大会および総会
11月10日(木) とかちプラザ 地方特定品種全国推進会議・日本短角種産地交流会
11月11日(金) 北海道畜産公社 第4回北海道肉専用種枝肉共助会開催
とかちプラザ 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016開催

※開催要項・案内は随時発行致します。

NEWSばか読み

- カルビーポテト主カスナック菓子じゃがりこ好調1割増産
8/26:台風で生産危機
- 食肉メーカー 高級チルドハンバーグ販売強化8/26:内(肉)食化
- 卸売市場2015年度決算 天候不順で増収増益
8/26:皮肉だね、獲れない方がいいの
- 農林水産省 豪州輸入素牛5月からヨーネ病で禁輸解除
8/27:道内ヨーネ対策が課題
- JA青更 野菜残さ家畜糞尿処理ガスプラント稼働 8/29:都市近郊発電は有効
- 林野庁 発電用木材チップ利用 昨対1.7倍123万t
8/29:坊主山が増えないように
- クボタ 農業用ドローン開発に着手 8/30:ドローンの多様性に注目
- 農林水産省 若齢就農者にAI活用 8/30:習熟者に進化させられるか
- 食品安全委員会 BSE検査廃止を答申SRMは継続 8/31:発生から15年の節目か
- 財務省 7月貿易統計 現地安で牛肉輸入量最多の25%増
8/31:現地相場が要因
- 消費者節約志向高まり 食品日用品が下落 8/31:本当の消費実体経済
- 台風10号 農作物市場に影響 9/1:天災影響大
- 東京小池都知事 築地移転の延期を表明 9/1:行政指導を東京都に
- 松尾ジンギスカン 滝川に自社牧場「松尾めん羊牧場」開設
9/1:本来のジンギスカン
- ユニー・ファミマ合併し1.8万店/セブンに迫る規模 9/2:コンビニの再編進む
- 電力各社 節電・再エネ・新電力で猛暑なのに供給にゆとり 9/2:原発必要?
- 和牛子牛相場反発し82万円の最高値/マルキン資金・取扱頭数減 9/2:枝@は
- 穀物国際相場 好天と中国経済減速で下落 小麦10年ぶりに安値
9/3:善し悪し
- 台風10号農地被害 十勝で9000ha被害額莫大 9/7:過去に経験なし

- 内閣府調査 ひきこもり(15~39歳)54万人長期高齢化に 9/8:社会参加に
- J R北海道 台風被害で根室線寸断年内開通見通し立たず 9/8:足がもげる
- びっくりドンキー米粉使用nonアレルギーハンバーグ発売
9/8:アレルギー対策必須
- 百貨店 インバウンド景気後退で大量閉鎖時代に
9/6:時代に合った百貨店とは
- 北海道 15年新規就農に農外参入が過去最高 9/10:法人化進む
- 気象庁 ラニーニャ現象発生発表 9/10:異常気象ばかりだね
- 広島カープ 25年ぶりにリーグ優勝 9/11:庶民球団に祝杯
- 牛マルキン7月乳用種に4ヶ月ぶりに発動 9/13:素牛高の影響ジワリ
- プリオン調査会 豪州産牛羊山羊の内蔵再評価開始 9/14:国内需要高が影響
- 輸入米SBSで商社・卸業者の不正取引が発覚 9/15:氷山の一角
- 独バイエルン 遺伝子組み換えの米国モンサントを買収
9/15:農業種ビジネスの巨大化
- 三菱商事 ローソンを子会社化へ商社の川下化進む 9/16:どの傘の下になるか
- 伊藤忠 カナダで豚肉増産 新工場建設し国産の3割安で供給 9/17:商社パワー
- キューピー アオハタ十勝工場台風被害でコーン販売休止 9/17:ジワリジワリ
- ペッパーフード 立ち食いステーキ店円高でメニュー@下げ 9/19:
- 日本公庫調査 単身高齢者 朝パン食が多い傾向 9/20:
- 夢の原子炉「もんじゅ」廃炉へ 9/21:1兆円の夢でした
- 外食 夏場の天候不順で不調長引く 9/21:
- 日銀 量的緩和から金利誘導へ 9/22:金融混乱誘導、産業構造の問題変わらず
- 米国 食品安全強化法が施行 9/23:日本の義務化に圧力
- トヨタ 作物DNA解析スピード化技術を開発 9/24:自動車企業が...
- 外食・食品大手が中高年齢単身所帯をターゲットに商品開発
9/24:ニーズがここに
- うしちゃんファーム(宮城県石巻)が現地ベトナム国営企業と牛改良取組
9/26:進出

東京直近NEWS (9/29 Shi-REPORT)

ホルス 販売状況は先月同様に非常に悪い状態を継続。9月も連休や行楽シーズンでありながら、各部位荷余り状況。特に赤身部位とバラ系の荷動きが鈍く、在庫過多状態。産地工場はチルドでの販売成約に至らず、冷凍製造に切替、その在庫も膨らんでいると聞き及ぶ。枝相場は若干下落を見せているが、それ以上に正肉の流通価格が下落しており収支的にも厳しい状況。10月に入り、部分肉の価格が下落したことから、若干の間合せ引合いは出ているが、価格は依然として安値状態も、それが故に末端では特売を多少でも打てる環境になってきている模様。しかしながら、多くは輸入ビーフのチラシが大半であり、一度シェアを落とした国産牛の回復は難しい。行楽シーズンから各地で収穫祭や運動会などの催事もあり、ボジョレ解禁

禁などのイベント需要や気温低下からの鍋物需要に期待したい。

経産牛 道内の生体市場は先日の北海道台風被害で一時的に集荷頭数が増しており、相場も安値基調。但し、一過性の可能性も強く今後の相場状況に注視必要。販売面はホルスの正肉流通相場が大きく下落していることと、ホルスの荷余りから経産牛需要のマーケットに入り込んでいる為経産牛パーツ自体の荷動きは悪い。挽材も末端量販への価格が引き上げられたことから輸入ものにシフトしており国産牛としての引き合いが鈍く、大手は在庫も潤沢なことから価格競争に突入しつつある。今後の季節部位であるカタロース関係も未だ鈍く先の需要に不安が多い。

左先生の畜産学研究NEWS

北海道に4つの台風が上陸や接近して1ヶ月経ちましたが、農作物や畑地、社会インフラなどへの被害は増大が判明するばかりでその額も未だ確定しません。産業の6次化は北海道農業にとって重要課題とされてきましたが、自然相手の川上に災害で作物被害があると川下は氾濫や土砂崩れなどで輸送ができず、工場なども止まります。地球温暖化や気候変動は今や北国も例外ではなく、冷害対策から温暖化を逆手にとって品質向上に改良の方向を転換した農業は災害発生を想定したリスク分散などの対策をより綿密に建てる必要があります。これを機会に、目の激甚災害指定と審査に時間をかけるよりも、今後予測される気候変動への長期的視野に立った備えと農業生産体制の確保に真剣に取り組んで欲しいと思います。そうすれば日本の農業も強くなり、食料自給率も自ずと上がるでしょう。e-びーふNews34号の学術情報は、日本畜産学会報からの3論文からです。日畜会報は年4回、Animal Science Journalは12回発行です。日畜会報の発行は概ね2、5、8、11月です。

1.日畜会報 2016.87:(3) 235-241

黒毛和種牛肉の官能評価において総合評価に寄与する官能特性と脂肪含量の関係(北川貴志ほか、滋賀県畜産振)

約30ヶ月齢屠殺の黒毛和種肥育牛のリップブロックの官能評価に及ぼす筋肉内粗脂肪含量の違いについて検討しました。その結果、筋肉内粗脂肪含量(30%-50%)を4段階に区分すると、食感、風味、うま味で表した「総合評価」では脂肪含量30-35%では風味より食感がより強く関連し、筋肉内脂肪含量が45-50%で多いと食感のみが「総合評価」に関連し、うま味や風味の評価が下がることを追認しました。

2.日畜会報 2016.87:(3) 247-251

黒毛和種におけるサイコロ脂面積が枝肉格付形質、画像解析形質および枝肉単価に及ぼす影響(迫田康平他、帯畜大)

黒毛和種牛枝肉の6-7切開面で頭半棘筋と背半棘筋およびロース芯に囲まれた筋間脂肪をサイコロ脂と呼びこの面積が12cm²以上であると歩留等級を下げる要因とされます。肥育牛7,958頭(去勢5,890、♀2,068)についてミラー型牛枝肉撮影装置で撮影し、画像解析によりサイコロ脂面積と枝肉格付形質、枝肉単価等との関連性を検討しました。その結果、サイコロ脂面積が大きいと枝重やバラ厚も大きくなり、♀の方がその傾向が強いと思われ、サイコロ脂面積が12cm²を超えると枝肉単価は有意に低下しました。

3 日畜会報 2016.87:(3) 253-257

黒毛和種および交雑種の胸最長筋における脂肪交雑形状が枝肉単価に与える影響(竹尾麻紗美他、帯畜大)

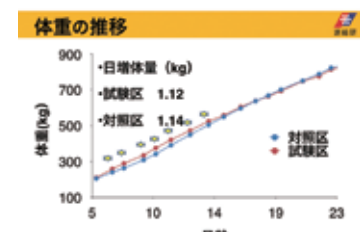
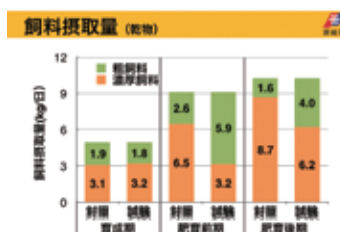
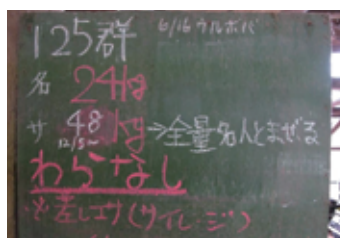
牛枝肉の横断面撮影装置を用いた画像解析技術で開発した細かい脂肪交雑(小ザシ)を評価する新細かさ指数(NFI)を用いて黒毛和種(12,754頭)とJB♂Hol♀交雑種去勢牛(4,620頭)の枝肉単価と細かい小ザシの程度との関係を検討しました。その結果、黒毛和種と交雑種の平均NFIは76.8と61.7(P<0.01)で黒毛和種が高く、BMSNo毎に3段階評価した小ザシ量が多い枝肉単価と小ザシが少ない枝肉の枝肉単価の幅は黒毛和種20-198で交雑種58-128と前者の方がNFIを意識した改良が行われていると思われました。

道総研 畜産試験場NEWS

「育成期および肥育期におけるサイレージ給与法」⑥ 全6回シリーズ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 遠藤 哲代



月齢	乾草	GS	配合飼料	人工乳
3	2.0	1.0	1.5	-
4	2.0	2.5	-	-
5	2.5	3.0	-	-
6	飽食	3.0	4.0	-
7	4.0	4.0	-	-
8	4.0	4.5	-	-
9	4.0	4.5	-	-



	試験区	対照区	全通平均
枝肉重量 (kg)	503.8	521.5	496.1
ロース芯面積 (cm ²)	48.9	51.0	51.0
ばら厚 (cm)	7.0	7.2	7.3
皮下脂肪厚 (mm)	2.5	2.5	2.5
歩留り (%)	69.8	70.0	70.4
BMS No	3.5	3.9	3.6
BCS No	4.1	4.0	3.9
締りきめ等級	2.6	2.7	2.7

